

研究課題名	全身麻酔手術前後の交感神経応答誘発閾値と術後鎮痛の関係について
研究期間	2025年1月27日～2029年03月31日
研究の対象	<p>2019年2月20日～2026年3月31日の間に、広島大学病院で全身麻酔による手術を受け、術後鎮痛として、硬膜外麻酔あるいは頸静脈的の自己調節鎮痛法を併用され、以下の研究に参加された患者さん。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ E2018-1523「血管剛性値に基づいたオピオイド感受性指標によるオピオイド感受性に影響を与える遺伝子多型の有無の推定」</li> <li>・ CRB2024-0009「交感神経反応誘発閾値に基づくオピオイド感受性指標による外科的皮膚切開時の血圧変動抑制効果に関する外部対照非ランダム化比較試験」</li> <li>・ E2022-0255「術後に集中治療を要する患者に対するレミフェンタニルによる最適な鎮痛方の模索」</li> </ul>
研究の目的・方法	<p>研究目的：患者さん個々の痛みに対する医療用麻薬（オピオイド）の感受性の実態を明らかにすることです。</p> <p>全身麻酔で手術を受ける患者さんには、手術中の“痛み”に対して鎮痛薬としてオピオイドを使用します。痛みの感じ方やオピオイドの感受性には大きな個人差があり、手術中にもその感受性は変化していきますが、その感受性を数値で定量化することで、安定した麻酔管理や、術後の疼痛管理が可能になります。</p> <p>研究の方法：本研究は、診療録（カルテ）情報と、麻酔中の生体情報を調査して行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>カルテから使用する内容は、手術年月、手術内容、性別、身長、体重、既存疾患、麻酔方法、麻酔におけるリスク因子、術後鎮痛法の種類や使用量など。</p> <p>生体情報から使用する内容は、心電図波形、観血的動脈圧波形、二酸化炭素分圧波形などです。</p> <p>情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学准教授 佐伯 昇</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年1月（実施許可日以降）
個人情報の保護	<p>情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p>

外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 准教授 佐伯 昇
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 麻酔科 医科診療医 竹野 典子</p> <p>〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5267</p>